

## 【学校長コラム】ア・サ・ガ・オ

夏休みが明け、はや2週間。まだ暑さが残る中ですが、児童は元気に落ち着いて学校生活を送ってます。

さて、校長室の前の保育園との境の土手にはフェンスがあるのですが、今年はそこにアサガオの蔓が巻き付いています。残暑が続くせいか、まだ、たくさんの花が咲いています。

登校の見守りに正門に降りていく時には、朝の光に向けて、ここぞとばかりに、紫や青の花を咲かせています。毎日観察していると、同じ蕾のはずですが、色や形が少しずつ変化していき、同じ色や形は一つとしてないことに気づきます。

そんなアサガオを見ながら、ふと、「子どもたちも同じだなあ〜」という思いが沸き起こります。

203名のけやきっ子たち。一人として同じではありません。一人一人がそれぞれの「色」をもち、毎日、成長してきます。そして、昨日と今日、同じ日ありません。昨日より今日、今日より明日…。同じ花に見えても、少しずつ色を変え形を変え成長していきます。

子どもと共に日々を過ごす私たち大人は、そんな一人一人の「色」や「形」の違いやよさに目を向けなければならないのだと思います。

アサガオの花言葉を調べてみると…

「愛情」「結束」「明日もさわやかに」  
とあります。

ア: 明日も

サ: さわやかに(さらに)

ガ: 学校で

オ: 大きく育つ

そんな一人一人になってほしいと思うとともに、だいが小学校がそんな学校で在り続けられるように努めたいと思います。

アサガオには、色によっても花言葉があるようです。ぜひお子様と調べてみてください。さあ、明日のだいが小学校では、どんな色の花々が輝くでしょうか？

